

(別添 3)

【埼玉県朝霞市】

校務DX計画

本市は、GIGAスクール構想に基づき、令和3年度から小・中学校へ1人1台端末（タブレット端末）を導入し、児童生徒一人ひとりがSociety5.0時代を生き抜く力を育むために必要な環境を整備してきた。

教職員が利用する教育ネットワークについては、令和6年9月にゼロトラストネットワークによる適切なアクセス制御型の基盤を構築しセキュリティ対策を実施するとともに、校務系と学習系のネットワークを統合し、利便性の向上とコストの効率化を実施した。

今後は、「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言及び「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえるとともに、クラウド型統合型校務支援システムをはじめとするクラウドツールを活用し、以下の取組をさらに推進していく。

1. 1人1台端末（指導者用）の整備

令和3年度から令和4年度にかけて、指導者用端末の整備を完了している。

2. ネットワーク環境の整備

令和6年9月に校務系と学習系のネットワークを統合し、これまで1Gbpsだった回線を全校10Gbpsに増強した。また、ゼロトラストネットワークによるリモートアクセス環境の整備や職員室等の無線LANの整備を行い、ロケーションフリーな教育環境を構築した。

3. 統合型校務支援システムの導入

令和6年9月にクラウド型の統合型校務支援システムを導入した。これまで、アナログで処理していた事務処理や情報管理をデジタル化し一元管理することで、教職員の校務処理における負担の軽減を図るとともに、システムに蓄積した教育データを基に、きめ細やかな指導が行える基盤を構築した。なお、クラウド型の統合型校務支援システムのため、リモートアクセスにも対応している。

システム内のグループウェア機能を活用し、学校間、市教育委員会と学校間の文書連絡や資料送付がスムーズに行えている。また、保護者との連絡については、保護者連絡ツールを導入し、欠席連絡などの効率化を図るとともに、ペーパーレス化も進んでいる。

4. F A X・押印等の従来型業務の見直し及びペーパーレス化の推進

F A Xは、災害時や教育ネットワークの不具合時など、F A Xの方が効率的となる場合を除き、廃止に向けて検討を行う。また、押印についても内規の改正等により見直しを推進する。

ペーパーレス化は、校内の職員会議や教育委員会主催の研修等において、資料を共有データとして閲覧することにより取組を進めている。今後、庁内では電子決裁が導入されることも踏まえ、より一層のペーパーレス化を推進する。

5. 学習A Iドリルシステムの活用

令和6年4月から1人1台端末による学習A Iドリルシステムの利用を開始し、個別最適化された学習及び主体的な学びの促進を行っている。利用状況は、学校間やクラス間で差があることから、利活用がより進むよう好事例の取組を横展開するなど学校への支援を行っていく。